

京都市内の地下に眠っている明治期の水道管を再生する？！

## 「本願寺水道」再生アイデアコンペティション募集要項

### 1 趣旨

東本願寺は江戸時代の中頃から末期に 4 度の火災で堂宇を焼失し、その度に再建される歴史を持ちます。建物を火災から守るため、明治期に再建された現在のお堂には、琵琶湖疏水の設計者の田辺朔郎による、本願寺独自に防火用の水道管が敷設されました。

この本願寺水道は、日本の近代化のなかで輸入資材を使い、我が国の技術者により完成させた「文化的価値」があります。また、自然の循環水を身近に感じることのできる「環境価値」、人的動力に頼らない自然落差を利用し多量かつ安定的に消火用水として利用できる「防災価値」を併せ持つ歴史的な遺産であります。

しかし、敷設後約 120 年を経過し、漏水の発生など老朽化のため 2008 年から送水を停止しており、このままでは、歴史的遺産も失われてしまいます。この本願寺水道を再生し、未来に引き継いでいくことを目的として、多様な水利用の可能性を考えるため、「本願寺水道」再生アイデアコンペティションを実施します。

### 2 募集内容

本願寺水道を「文化」「環境」「防災」をキーワードに再生活用するアイデアを募集します。

<以下の項目から選択ください。(複数可)>

- ①本願寺水道の管路上における市民消火栓などの防災利用へのアイデア
- ②東本願寺前緑地帯に本願寺水道を用いた公園へのアイデア
- ③その他、本願寺水道再生についてのアイデア

### 3 応募について

①期 間 2012 年 4 月 1 日 (日) ~2012 年 4 月 30 日 (月) ※必着

②送付先 〒600-8505 京都市下京区烏丸七条上ル 「真宗大谷派宗務所 御修復事務所」宛

### 4 発表方法

2012 年 5 月 19 日 (土) 開催ウォーキングイベント「本願寺水道を歩こう」にて優秀作品発表

※優秀作品 (数点) には、些少なから賞品を贈呈いたします。

### 5 その他

①再生アイデアは、それぞれイラストなど自由に表現ください。

なお、紙面は A4 サイズで作成ください。

②応募用紙を印刷し、必要事項を記載の上、アイデアに添付して送付ください。

③CD や DVD 等の電子メディアによるデータの送付も受け付けます。

④FAX、メールによる受付は致しません。

### 6 問合せ先

真宗大谷派宗務所 御修復事務所 Mail : goenkihonbu@higashihonganji.or.jp

# 本願寺水道 再生 アイデアコンペティション

京都市内の地下に眠っている**明治期の水道管**を再生し、  
**文化・環境・防災**の面で活用する**アイデア**を募集します。



歴史的な遺産とでもいえる本願寺水道には、次のような「普遍的な価値」があると考えています。

- ・日本の近代化を取り入れた輸入資材ならびに国産資材を使い、当時の京都府知事北垣国道のもとで、田辺朔郎の設計監理で我が国の技術者により完成させた「**文化的価値**」
  - ・人的動力に頼らない自然落差を利用し、また、自然の循環水を身近に感じる「**環境価値**」
  - ・自然エネルギーで多量かつ安定的に消火用水として利用できる「**防災価値**」
- このような価値ある資産を再生させるには、従来に増して多様な水利用の可能性を考えておく必要があります。

是非、皆さんのアイデアをお知らせください！

＊**本願寺水道**：蹴上の琵琶湖疏水からその一部の水源を分け、東本願寺までにその水源を供給するため造られた内径 30CM の水道管です。江戸時代から明治期にかけて 4 回の全焼被害にあった東本願寺を対象として、かつては火災から守るために造られました。その他、東本願寺御影堂門前の緑地帯における噴水の水や、東本願寺の御庭である涉成園の水源としても送水されました。1895 年の敷設から約 120 年が経った今でも、琵琶湖疏水から東本願寺まで繋がっています。

両堂噴水防火大試験：明治期に造られた本願寺水道は重力だけで屋根まで放水が可能でした



アイデアを膨らませるために、これらの事も含めて考えてください。



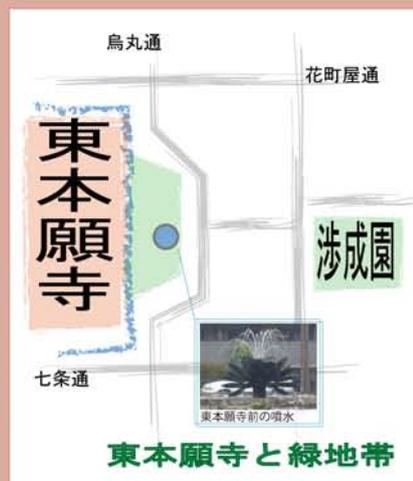
・市民が使える消火栓 (東山)



・東本願寺お堀の水



・東本願寺前緑地帯



# 応募用紙

ふりがな 氏 名：  (男 ・ 女)	職 業：  (もし学生でしたら学校名・学年)
住 所：〒	
電話番号：	F A X：
メールアドレス：	

送付先 〒600-8505 京都市下京区烏丸七条上ル 「真宗大谷派宗務所 御修復事務所」宛

○アイデアの概要（簡単にまとめて説明をお願いいたします）

※応募者より頂いた個人情報は個人情報保護法を遵守し、本イベントにおける連絡または個人を特定しない統計情報の形で利用のみさせていただきます。

応募及びお問い合わせ：真宗大谷派宗務所 御修復事務所 Mail : goenkihonbu@higashihonganji.or.jp  
主催：東本願寺と環境を考える市民プロジェクト 協賛：東本願寺、立命館大学 歴史都市防災研究室